

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

残念ながら、桜の花の下での普通の入学式はかないませんでしたが、それでも皆さんが4月から京都女子大学というコミュニティの一員となられたという事実は変わりません。その誇りと自覚を持ってこれからの学生生活を送っていただければと思います。

異例づくめのスタートということで、皆さんの中には不安を感じている人もいるのではないかと想像します。授業はどうやって受けたらいいだろう？クラブ活動はできるのだろうか？大学に行けなくて友だちができないのじゃないか？どうしてよりによって私が入学するときにこんな事が？

しかし、どんな悪い物事の中にも何かしら良いことを見出すことはできるものです。確かに今は状況が日々変わり、何をするのが正解なのかわからないというのが本当です。教員の私にとってもそうです。

でもよく考えてみれば、大学は答えのない問題に取り組むところです。先の見えない状況で、どうやれば良い大学生活を送れるのか。まだ誰も答えを持っていないこの問題に取り組むことこそ、大学での学びそのものだと言えます。良かれ悪しかれ、こんなチャレンジしがいのある課題に出くわすことは滅多にありません。ということで、皆さんと私たち教職員、一緒になって答えを探していきましょう。

現代社会学部長 中田兼介